

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	フィールドスターP乳剤
会社	日本曹達株式会社
住所	〒100-8165 東京都千代田区大手町2-2-1
担当部門	農業化学品事業部普及部
電話番号	03-3245-6178
FAX 番号	03-3245-6084
緊急連絡先情報	農業化学品事業部普及部
電話番号	03-3245-6178
SDS 作成日	2014年05月07日
SDS 改訂日	2023年02月14日(07版)
推奨用途	農薬

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

健康有害性	急性毒性（経口）	区分4
	皮膚腐食性／刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2A
	皮膚感作性	区分1
	誤えん有害性	区分1
環境有害性	水生環境有害性 短期（急性）	区分1
	水生環境有害性 長期（慢性）	区分1

### ラベル要素

絵表示（GHS JP）



注意喚起語（GHS JP）

: 危険

危険有害性（GHS JP）

: 飲み込むと有害  
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ  
皮膚刺激  
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
強い眼刺激  
水生生物に非常に強い毒性  
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き（GHS JP）

安全対策

: ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。  
取扱い後は手、顔をよく洗うこと。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

管理番号：N0-4380201

- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
環境への放出を避けること。  
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- 応急措置：  
： 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。  
口をすすぐこと。  
無理に吐かせないこと。  
皮膚に付着した場合：多量の石けん及び水で洗うこと。  
皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。  
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。  
特別な処置が必要である（このラベルの補足的な応急措置の説明を見よ）。  
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
漏出物を回収すること。
- 保管：  
： 施錠して保管すること。
- 廃棄：  
： 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別：混合物  
一般名：ジメテナミドPを主成分とする農業用除草剤

化学名	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
ジメテナミド-P	64.0	末尾に記載	適用外(農薬)	8-(6)-291	163515-14-8
ナフタレン	<5	C10H8	(4)-311	なし(公表化学物質扱い)	91-20-3
ソルベントナフサ	5-<15	-	(3)-7	なし(公表化学物質扱い)	64742-94-5
2-メチルオキシラン・オキシラン重合物のモノブチルエーテル	< 5	-	(7)-97, (7)-327	既存化学物質	9038-95-3
1, 2-プロパンジオール	≤ 1	C3H8O2	(2)-234	2-(8)-321, 2-(8)-323	57-55-6
メチルナフタレン	≤ 10	C11H10	(4)-80	既存化学物質	1321-94-4

《ジメテナミド-P の別名》

ジメテナミドP

### 4. 応急措置

- 応急措置  
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

管理番号：N0-4380201

- 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合：汚染された衣類、靴を直ちに脱ぐこと。  
多量の水と石鹸で洗うこと。  
皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
- 眼に入った場合：コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
水で数分間注意深く洗うこと。  
眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。  
直ちに医師に連絡すること。  
誤嚥（飲食物や唾液が誤って気管に入ってしまうこと）のおそれがあるため、吐かせないこと。
- 応急措置をする者の保護：救急隊員は自身の安全に注意を払うこと。患者が意識を失いそうになったら、横向き（回復体位）で安静に寝かせ、搬送する。汚れた衣服は直ちに取り替える。

#### 医師に対する特別な注意事項

- その他の医学的アドバイスまたは治療：対症的に治療すること。

---

## 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤：霧状の水  
粉末消火剤  
泡消火剤  
炭酸ガス消火剤
- 使ってはならない消火剤：情報なし。
- 火災危険性：燃焼によって有毒ガスを生成する。  
一酸化炭素、二酸化炭素、塩化水素、硫黄酸化物、窒素酸化物、有機ハロゲン化合物など
- 消火方法：火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。  
消火作業は風上から行う。  
周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。  
移動できない場合、容器に放水し、冷却する。  
汚染された消火用水を別途回収すること。下水または廃水処理施設に流さないこと。汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分すること。  
火災および/または爆発の場合に、ヒュームを吸入しないこと。火に暴露された容器は噴霧水で冷却した状態に保つこと。
- 消火を行う者の保護：自給式呼吸器及び耐薬品性保護衣を着用すること。

---

## 6. 漏出時の措置

#### 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- 一般的措置：作業の際は、保護具を着用する。保護具については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照の事。  
人を退避させ、飛散・漏出した周辺にロープを張り、「立入禁止」及び「火気厳禁」の措置を行う。  
十分な換気を確保する。

管理番号：N0-4380201

眼、皮膚、衣類につけないこと。  
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。  
風上から近づく。

**環境に対する注意事項**

環境に対する注意事項：排水溝または水路への侵入を防ぐ。

**封じ込め及び浄化の方法及び機材**

封じ込め方法：ウエス、スコップ等でできるだけ空容器に回収する。必要なら砂等をまいてできるだけ回収する。  
：法令に従って吸着剤を廃棄すること。環境法令を遵守すること。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

**取扱い**

技術的対策：「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。  
安全取扱注意事項：取扱い後はよく手、顔を洗うこと。  
眼、皮膚、衣類につけないこと。  
蒸気／ミスト／スプレーの吸入を避けること。  
この製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしないこと。  
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
作業所の十分な換気を確保する。  
蒸気は空気中で爆発性の混合物を形成する可能性がある。静電気防止対策をとる。発火源を近づけない。消火器常備のこと。  
接触回避：「10.安定性及び反応性」を参照のこと。

**保管**

安全な保管条件：施錠して保管すること。  
食品、飲料、動物用の場からは離して保管すること。  
密栓をし、火気を避け、直射日光のあたらない冷涼な場所に保管すること。  
安全な容器包装材料：データなし

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

《ナフタレン のデータ》

**厚生労働省**

管理濃度：10 ppm

**日本産業衛生学会**

許容濃度(産衛学会)：設定されていない

年度：2020

**ACGIH**

許容濃度(ACGIH)：TWA 10 ppm, STEL - (Skin)

年度：2021

管理番号 : N0-4380201

設備対策	: 屋内使用の場合、装置を密閉化し、局所排気装置又は全体排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、シャワー・洗眼器を設置する。
呼吸用保護具	: 有機ガス用防毒マスク
手の保護具	: ゴム・塩ビ等の不浸透性手袋
眼の保護具	: ゴーグル
皮膚及び身体の保護具	: 不浸透性防除衣 安全靴

---

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
形状	: 可乳化油状液体
色	: 暗褐色
臭い	: 芳香臭
pH	: 2 - 4 (水、1%、約 25°C)
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: > 280 °C 活性成分の値
引火点	: 105 °C
自然発火点	: 425 °C
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: 約 0.00347Pa 活性成分のデータ (約 20°C)
相対蒸気密度 (20°C)	: 適用せず
相対密度	: データなし
密度	: 1.13 g/cm <sup>3</sup> (約 20°C)
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 水: エマルジョンを形成
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: ジメテナミドPのデータ : 1.89
爆発特性	: 化学構造に基づき、爆発性の性質を示すものはない。
爆発限界 (vol %)	: データなし
酸化特性	: 構造的特徴に基づき、製品は酸化剤に分類されない。
粘性率	: 16.3 mPa.s (約 40°C)
動粘性率	: 14.7 mm <sup>2</sup> /s (40°C)
粒子特性	: データなし

---

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: 情報なし。
化学的安定性	: 通常の実用条件下では安定である。
危険有害反応可能性	: 指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。
避けるべき条件	: 直射日光。高温。熱。
混触危険物質	: 強酸。強塩基。
危険有害な分解生成物	: 通常の実用条件下で危険分解物なし。

---

## 11. 有害性情報

総合的な有害性情報 : 本品の類似の構造又は組成に基づくデータを下記に示す。

急性毒性（経口） : 飲み込むと有害  
下記データから区分4とした。

急性毒性（経皮） : 区分に該当しない

急性毒性（吸入） : 区分に該当しない(分類対象外)（気体）

フィールドスターP乳剤	
LD50 経口 ラット	500 - 2000 mg/kg
LD50 経皮 ラット	> 5000 mg/kg
LC50 吸入 - ラット	> 5.6 mg/l/4h

皮膚腐食性/皮膚刺激性 : 皮膚刺激

フィールドスターP乳剤	
pH	2 - 4（水、1%、約25°C）

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 強い眼刺激  
刺激性あり（ウキ<sup>o</sup>）。区分2Aとした。

フィールドスターP乳剤	
pH	2 - 4（水、1%、約25°C）

呼吸器感作性 : 分類できない  
データなし。

皮膚感作性 : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
皮膚接触により感作の可能性がある(改定 Buehler 試験、モレット)。区分1とした。

生殖細胞変異原性 : 分類できない  
データがある成分について、変異原性試験では遺伝毒性の可能性は認められなかった。データが不十分で分類できないとした。

発がん性 : 分類できない  
ジメテナミドP：ラットおよびマウスを用いた長期試験において混餌投与した結果、発癌性は認められなかった。ナフタレン：この物質が吸入投与されたラット及びマウス長期試験では、発癌性が認められた。EU分類この物質はドイツ MAK 委員会によってグループ3（発癌性が疑われる物質）に分類された。IARCは、この物質をグループ2Bとして分類している。区分2のナフタレンを含有する(0.1以上0.25未満)が、濃度限界値の1%未満であるため、分類できないとした。

生殖毒性 : 分類できない  
データがある成分について、動物実験において、母体毒性を示さない濃度では生殖能力の低下は認められなかった。データが不十分で分類できないとした。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない

管理番号：N0-4380201

- 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない  
データがある成分について、動物への反復投与試験後、物質特有の臓器毒性は観察されなかった。データが不十分で分類できないとした。
- 誤えん有害性 : 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ  
飲むこと(嚥下危険)により、肺にも障害を与える可能性がある。区分1とした。

フィールドスターP乳剤	
動粘性率	14.7 mm <sup>2</sup> /s (40°C)

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

- 水生環境有害性 短期(急性) : 水生生物に非常に強い毒性  
本品の類似の構造又は組成のデータを下記に示す。データから、区分1とした。
- 水生環境有害性 長期(慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性  
ジメテナミドPは、容易に生分解されないこと、及び下記データから、区分1とした。
- その他の情報 : 移動性：土壌への暴露後、本製品は少量ずつ流出する。分解の程度によるが、多量の水により、土壌深部へと移行し得る。  
生態蓄積性：ジメテナミドPのn-オクタノール/水分配係数から、生体への著しい蓄積はないと考えられる。

フィールドスターP乳剤	
LC50 - 魚 [1]	ジメテナミドPのデータ：6.3 mg/L (ニジマス、96hr)
EC50 - 甲殻類 [1]	8.85 mg/l (オオミジンコ、48hr)
ErC50 藻類	0.63 mg/l (緑藻、72hr)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	ジメテナミドPのデータ：1.89

### 残留性・分解性

フィールドスターP乳剤	
残留性・分解性	データなし

### 生体蓄積性

フィールドスターP乳剤	
生体蓄積性	データなし
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	ジメテナミドPのデータ：1.89

### 土壌中の移動性

フィールドスターP乳剤	
土壌中の移動性	データなし

フィールドスターP乳剤	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	ジメテナミドPのデータ：1.89

### オゾン層への有害性

- オゾン層への有害性：分類できない
- オゾン層への影響：モントリオール議定書に指定された物質を含有しない。
- その他の有害な影響：追加情報なし

## 13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物：内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。  
処理を外部に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
- 汚染容器及び包装：容器の内容物を完全に除去してから廃棄する。  
使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。容器、空袋等は、圃場などに放置せず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

- 海上規制情報：IMOの規定に従う。
- 航空規制情報：ICAO/IATAの規定に従う。
- 国連番号：3082
- 正式輸送品名：環境有害物質（固体）
- 国連分類：9
- 容器等級：III
- 海洋汚染物質：



適用される

### 国内規制

- 海上規制情報：船舶安全法の規定に従う。
- 航空規制情報：航空法の規定に従う。

### 特別な輸送上の注意

- 荷役中の取扱いは慎重丁寧に行い、転倒・落下・衝撃等により容器を傷め、内容物を飛散させてはならない。  
輸送中は、直射日光や雨水の浸透を防止するため、被覆すると共に、容器を動揺、摩擦、転倒、落下が起こらないように積載・輸送する。

### その他の情報

- 補足情報なし。



## 15. 適用法令

### 国内法令

化審法	： 優先評価化学物質（法第2条第5項） プロパン-1, 2-ジオール ナフタレン
労働安全衛生法	： 特定化学物質第2類物質、特定第2類物質（特定化学物質障害予防規則第2条第1項第2, 3号） ナフタレン 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9） 石油ナフサ ナフタレン メチルナフタレン 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9） 石油ナフサ（政令番号：330） ナフタレン（政令番号：408） メチルナフタレン（政令番号：582の2）
毒物及び劇物取締法	： 非該当
消防法	： 第4類引火性液体、第三石油類水溶性液体（法第2条第7項危険物別表第1・第4類）
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	： 第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1） ナフタレン（管理番号：302）（3.6%） メチルナフタレン（管理番号：438）（9.3%） 【改正後 令和5年4月1日以降】 第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1） （S）-2-クロロ-N-（2, 4-ジメチル-3-チエニル）-N-（2-メトキシ-1-メチルエチル）アセトアミド（別名ジメテナミドP）（管理番号：613）（64%） ナフタレン（管理番号：302）（3.6%） メチルナフタレン（管理番号：438）（9.3%）
農薬取締法	： 該当

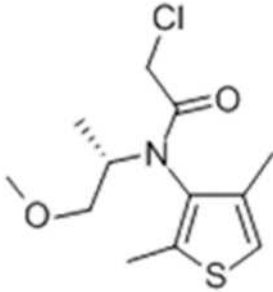
## 16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の見扱いを対象としたものなので、特殊な見扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

### 中毒したときの緊急連絡先

公益財団法人 日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る）	
中毒110番 一般市民専用電話	（大阪） 072-727-2499（情報料無料） 365日24時間対応
	（つくば） 029-852-9999（情報料無料） 365日9～21時対応
医療機関専用有料電話	（大阪） 072-726-9923（1件2000円） 365日24時間対応
	（つくば） 029-851-9999（1件2000円） 365日9～21時対応

医療機関の方が一般市民専用電話を使用した場合も、  
情報料1件につき2,000円を徴収します。



CAS 番号 : 163515-14-8  
化学名 : ジメテナミド-P